第 166 回　福岡産科婦人科学会

プログラム（ハイブリッド開催）

会　場　福大メディカルホール（福岡大学病院）

〒814-0180 福岡市城南区七隈７－45－１　新診療棟横

TEL 092 - 801 - 1011

日　時　令和５年１月 29 日（日）

9：00 ～	理　事　会	(Web 会議)
10：00 ～	専門医制度委員会	(Web 会議)
10：30 ～	学会雑誌編集委員会	(Web 会議)
	評　議　員　会	(郵送通信会議)
12：00 ～	専門医共通講習	(福大メディカルホール、Web 形式)
	代議員選出総会	(郵送通信会議)
13：15 ～	総　　会	(福大メディカルホール、Web 形式)
13：40 ～	学 術 講 演 会	(福大メディカルホール、Web 形式)
16：30 ～	指導医講習会	(福大メディカルホール、Web 形式)
17：30	終　　了	

新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、ハイブリッド形式での学会開催とします。詳細につきましては、福岡産科婦人科学会のホームページにおきまして、随時情報を更新いたします。

1. 第 166 回福岡産科婦人科学会のホームページより、事前登録をお願いします。
2. 講演時間は７分（発表５分、質疑２分）。
3. 発表は PC パソコンで行います。必ずご自身のパソコンをお持ち下さい。バックアップとして必ず USB メモリもご持参下さい。当日、来場でなくなった場合には、事前にご提出いただいた動画を使用します。
4. ソフトは以下のものをご使用下さい。：　Windows 版 PowerPoint2010/2013/2016
   ＊Macintosh をご使用の方は、必ずパソコンと専用コネクタをお持ち下さい。
   プロジェクターとの接続ケーブルコネクタは、ミニ D-Sub 15 ピンです。
5. 今回の専門医共通講習と専門医講習会は、現地開催とオンデマンド配信を予定しています。オンデマンド配信を視聴では、講習終了後の設問（５択）に正解した場合に、専門医共通講習の（必須）１単位と指導医講習１単位が付与されます。
6. 託児サービスをご利用いただけます（予約制）。詳細は後頁をご覧下さい。
7. コロナ感染症対策のためマスク着用と手指の消毒にご協力をお願い致します。
8. 学会に関するお問い合わせは担当校（080-4154-1730 担当：倉員）までご連絡下さい。

担　当　福岡大学医学部 産科婦人科学教室

主　催　福岡ブ ロ ッ ク

専門医機構認定共通講習（専門医共通講習）
12：00〜13：00

座長：宮本 新吾（福岡大学）

〜　より良い行為を導くための倫理 － 研究倫理から医療倫理まで －　〜
今泉　聡准教授（福岡大学　医学部　）

※本講習の受講により、「専門医共通講習：(必修)1 単位」が付与されます。

一　般　演　題

第 1 群）13：40〜14：22

座長：蜂須賀 一寿（九州大学）

1. 関節リウマチ合併卵巣癌の化学療法中に重篤な汎血球減少を来した 1 例
久留米大学　○竹内一輝・勝田隆博
池田周平・重川公弥
杉　悠・岡村　優
田崎慎吾・葉　高杉
田崎和人・西尾　真
津田尚武・牛嶋公生

2. 5 年以上の経過を観察した子宮頸部軽度異形成の消長
ウィメンズ KM クリニック　○柏村正道・柏村賀子
松村真理子・永渕悦子

3. レンバチニブ、ペンブロリズマブ併用療法後に心不全を来した子宮体癌の一例
北九州市立医療センター　○中野幸太・兼城英輔
村田結実子・田中桜子
遠矢雅人・末永美祐子
永井亜佑実・泉　りりこ
森田　葵・井上修作
原　枝美子・北出尚子
西村淳一・尼田　覚
同　総合周産期母子医療センター　髙島　健

4. 再発子宮体癌に対するレンバチニブ及びペムブロリズマブ併用療法の治療経験
福岡大学　○石田智大・吉川賢一

重　川　浩一郎・平　川　豊　文
倉　員　真理子・野　口　幸　子
伊　東　智　宏・四　元　房　典
宮　本　新　吾

5. 当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群の現状について

九州がんセンター　○山　口　真一郎・園　田　顕　三
勝　間　慎一郎・村　上　孟　司
二　尾　　愛・長　山　利　奈
有　吉　和　也・齋　藤　俊　章
岡　留　雅　夫

6. 術前診断が困難であった低異型度子宮内膜間質肉腫の１例

浜の町病院　○上　杉　　翔・上　岡　陽　亮
清　武　早　紀・守　口　文　花
伊　與　田　彩・中　山　紗　千
田　中　久美子・厚　井　知　穂
河　村　英　彦・前　原　　都
江　頭　活　子

第２群）14：22～~~15：11~~ 15:04

座長：坂井 淳彦（九州大学）

1. 当院における精神および社会的ハイリスク妊娠の管理体制

小倉医療センター　○北　川　麻里江・川　上　浩　介
伊　波　勇　裕・下　村　峻　司
倉　留　洋　平・小　野　結美佳
久　保　沙　代・藤　川　梨　恵
浦　郷　康　平・石　橋　弘　樹
清　水　隆　宏・河　村　京　子
徳　田　諭　道・元　島　成　信
川　越　秀　洋・牟　田　　満
大　藏　尚　文

2. 吸引分娩後に膀胱腟瘻を来たした一例

産業医科大学　○関　亦　真　生・田　尻　亮　祐
齋　藤　佑　真・金　城　泰　幸
近　藤　恵　美・柴　田　英　治
吉　野　　潔

3. 高度救命救急治療および病院間連携により救命し得た子宮型羊水塞栓症の一例

久留米大学　○劉　天誠・黒川裕介
井上麻実・宮原英之
武藤　愛・横峯正人
堀之内崇士・吉里俊幸
牛嶋公生

4. 妊娠第Ⅱ三半期の胎胞形成に対し、頸管縫縮術の際に子宮頸管ペッサリー装着を行い、正期産となった３例

小倉医療センター　○伊波勇裕・徳田諭道
下村峻司・倉留洋平
久保沙代・藤川梨恵
小野結美佳・浦郷康平
石橋弘樹・北川麻里江
清水隆宏・川上浩介
川越秀洋・牟田　満
大藏尚文

~~5. 当院で経験した Meckel-Gruber 症候群の２例~~

~~北九州市立医療センター　○村田結実子・原　枝美子~~
~~中野幸太・田中桜子~~
~~永井亜佑実・末永美祐子~~
~~遠矢雅人・森田　葵~~
~~泉　りりこ・井上修作~~
~~北出尚子・西村淳一~~
~~兼城英輔・尼田　覚~~
~~同　総合周産期母子医療センター　高島　健~~
~~国立成育医療研究センター／~~
~~群馬大学医学部 分子細胞生物学　秦　健一郎~~

演題取り下げ

6. 妊娠高血圧症候群の診断に至らず子癇を発症した一例

九州大学　○山本　洋・蜂須賀信孝
清木場　亮・杉浦多佳子
嘉村駿佑・坂井淳彦
藤田恭之・加藤聖子

7. 遺伝性球状赤血球症合併により胎児貧血を認めた一例

福岡大学　○永田浩士郎・宮田康平
石田倖子・清島千尋
讃井絢子・漆山大知

井　槌　大　介・倉　員　正　光
宮　本　新　吾

第３群）~~15：11～15：46~~ 15:04～15：39

座長）磯辺 明子（九州大学）

1. 腹腔鏡下子宮全摘術後に左卵巣静脈血栓症を発症した１例

大牟田市立病院　○柏　田　浩　伸・山　田　空　明
那　須　洋　紀・村　上　文　洋

2. 子宮頸癌の放射線治療中に突然の両側下肢疼痛を来たし、急性動脈閉塞症と診断した１例

九州労災病院　○武　富　瑠　香・飯　尾　一　陽
西　村　和　朗・土　岐　尚　之
鏡　　誠　治

3. 虫垂穿孔を発症した虫垂子宮内膜症の一例

聖マリア病院　○池　田　裕一郎・寺　田　貴　武
坂　田　光太郎・森　下　優　史
哲　翁　　晶・杉　山　理　子
清　家　崇　史・権　藤　佳奈子
河　野　雅　法・朴　　鐘　明
堀　　大　蔵・杉　山　　徹
下　村　卓　也

4. ジエノゲストが奏効した帝王切開後瘢痕症候群（cesarean scar syndrome: CSS）の１例

九州医療センター　○石　黒　　元・庄　　とも子
片　岡　寧　々・鐘　江　　愛
大　塚　裕一郎・永　谷　優　華
荒　木　研士郎・前　原　佳　奈
樗之浦　佳　奈・田　浦　裕三子
瓦　林　靖　広・藤　原　ありさ
蓮　尾　泰　之・小　川　伸　二

5. 当院における 15 歳以下の医学的適応による妊孕性温存療法の現状

九州大学　○友　延　尚　子・藏　本　和　孝
詠　田　真　由・河　村　圭　子
濱　田　律　雄・横　田　奈津子
磯　邉　明　子・宮　﨑　順　秀

大　石　博　子・加　藤　聖　子

第４群）~~15：46～16：28~~　15：39～16：21

座長）小玉 敬亮（九州大学）

1. 子宮鏡下に確認し摘出し得た腟内異物の症例

九州労災病院　○飯　尾　一　陽・西　村　和　朗
武　富　瑠　香・土　岐　尚　之
鏡　　誠　治

2. 第１トロカー挿入時の大網損傷により開腹手術に変更した腹腔鏡下子宮筋腫核出術の一例

JCHO 久留米総合病院　○三　嶋　すみれ・園　田　豪之介
中　並　弥　生・畑　瀬　哲　郎

3. 腹腔鏡下子宮全摘術後の筋腫遺残の一例

原三信病院　○松　枝　さやか・片　岡　恵　子
吉　田　紘　子・茗　荷　　舞

4. 腹腔鏡下に治療した腹膜妊娠の一例

原三信病院　○吉　田　紘　子・片　岡　恵　子
松　枝　さやか・茗　荷　　舞

5. 腹腔鏡手術により診断および治療が可能であった妊娠 11 週のメッケル憩室に伴う腸閉塞の１例

福岡赤十字病院　○蒔　田　真也香・友　延　　寛
森　下　佳　登・野　田　龍之介
古　賀　万里子・田　中　大　智
中　村　友里恵・濵　﨑　洋一郎
和　田　智　子・松　本　　恵
遠　城　幸　子・西　田　　眞

6. これまで診断されなかった完全中隔子宮を合併した稽留流産の一例

九州中央病院　○東　條　伸　平・松　下　知　子
衞　藤　貴　子

指導医講習会
16：30〜17：30

座長：四元 房典（福岡大学）

〜　産婦人科における臨床研究をデザインする　〜

有馬　久富教授（福岡大学　医学部衛生公衆衛生学　）

※本講習の受講により、「指導医講習:1 単位」が付与されます。

託児所ご案内

開設日時　：　令和５年１月 29 日（日）11：00～17：30

対象年齢　：　下記①参照

委 託 先　：　(株) イコニコ・カンパニー

料　　金　：　お子様１人につき 3,000 円　当日現金払いとします。

申込締切日：　令和５年１月 20 日（金）まで

申 込 先　：　福岡産科婦人科学会

E-mail:akiobgy@fukuoka-u.ac.jp

*事前のお申し込みなしではお預かり出来ません。

【イコニコ・カンパニー　イベント安全対策】

①3 歳児以降～未就学児のみ（※原則１家族２名まで）
※感染症対策のイベント保育基準として収容人数を 50%と定めます。
※状況次第で受入年齢は変更予定

②預かる前の手洗い、うがい（保護者様と一緒にお願い）

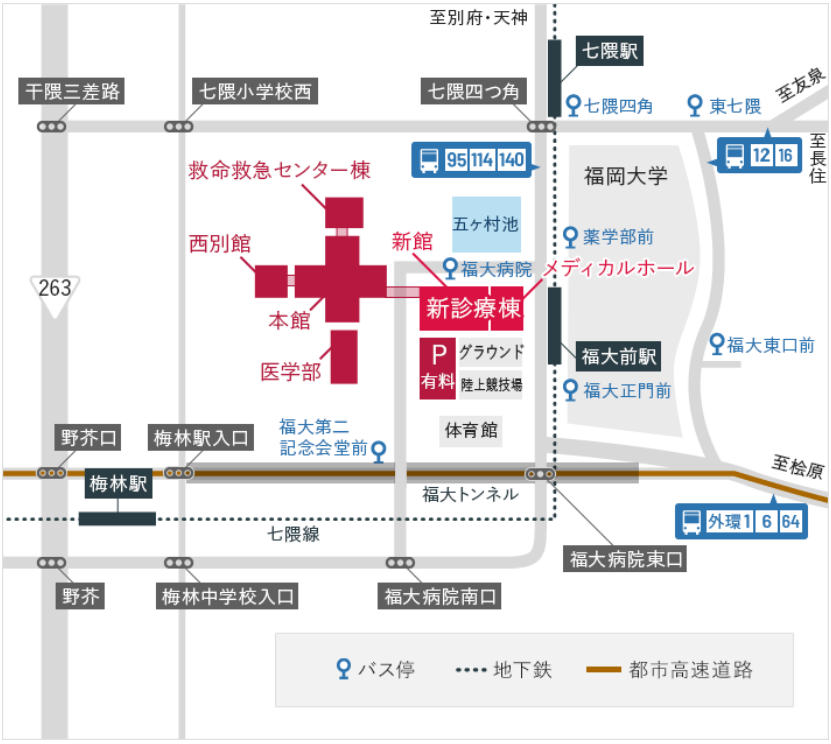
③当日、現場で検温実施
※安全を期して 37.5℃以上は預かり不可
※お子様だけでなく、同行のご家族が 37.5℃以上であれば預かり不可

④お子様のマスク着用必須
※過去に発熱等があった場合は解熱後 24 時間以上経過し、呼吸器症状がない事の確認
※安全対策上、出来るだけご協力をお願いいたします。

⑤首都圏、緊急事態宣言地域、感染者拡大地域の受け入れ不可

⑥簡単なアンケートの記入

福大メディカルホール周辺地図



交通アクセス

会場（福大メディカルホール）は、福岡大学病院新館の左隣です。

■天神から　　地下鉄七隈線が便利です

「福大前駅」で下車後、改札口を出て右側（２番出口、福岡大学病院方面）へお進み下さい。

■自家用車　　有料駐車場はございますが、なるべくバス・地下鉄などをご利用ください。

福岡大学病院までの経路は、 http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/byouin/accessmap.html のサイトでも閲覧できます。